



# 茨協ニュース

第84号

平成24年12月1日

社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

急ぐな 焦るな 手を抜くな  
初心に戻って安全確認

## 平成24年度 労働安全衛生大会

主催 社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会



CONTENTS

## 目次

CONTENTS

- 技術者研修会 ..... 2
- 除染業務等に係る特別教育 ..... 3
- 労働安全衛生標語入賞作品の紹介 ..... 5
- 労働安全衛生大会 ..... 6
- 会員親睦研修旅行 ..... 8
- ビルクリーニング技能検定受検準備講習会 ..... 10
- シニアワークプログラム事業ビルメンテナンス講習 ..... 10
- 第41回関東甲信越地区例会（千葉例会） ..... 11

- 理事会だより ..... 13
- 各委員会だより ..... 13
- 平成25年新春賀詞交歓会のお知らせ ..... 14
- 会員告知板 ..... 15
- 茨城労働局からのお知らせ ..... 15
- 会員紹介ページ ..... 16
- 編集後記 ..... 18

## ■ 設備保全・警備委員会

9月26日(水)、「平成24年度技術者研修会」を、当協会の事務所が入居している茨城県総合福祉会館の4階にある中研修室で開催しました。

今回の研修は、原子力発電所の稼働が不透明な中、社会的な課題ともなっている「省エネ」と「節電」をテーマとして実施しました。また、研修の



内容を、幅の広い知識の習得とともに、日々の業務にすぐ応用できる実践的なも

のとするため、2部構成としました。

研修会は、大山会長、高野設備保全・警備委員長のあいさつで始まり、第1部(午前)では、「省エネ・節電の進め方と具体的方策」について、(一財)省エネルギーセンターの風間先生の講義を受け、第2部(午後)では、「事務所ビル節電の進めどころ」について、同センターの三角先生の講義を受けました。

会員の関心は高く、受講者の59名は、省エネ・節電の実践的な知識を習得することができました。

研修会終了後、各受講者は、大山会長から修了証の交付を受けました。

## 技術者研修会に参加して

(株)シービース 吉田 勝昭

9月26日に開催された省エネ・節電を目的とした「技術者研修会」に参加しましたが、主にエネルギー管理業務に携わる私自身にとって、大変役に立つ中身の濃い研修会がありました。

昨年は、3.11の東日本大震災に伴う東電の福島第一原発の壊滅的な事故により、電力供給は一気に不安定な状態に陥ってしまい、電力需要の最大となる夏場には電力使用制限令が発動され、ピーク電力を前年の値より15%以上削減せざるを得ない状況になってしまいました。この対策として冷房運転時間の短縮や設定温度の変更、エレベーターの間引き運転や照明の間引き或いはトイレの温水便座の停止等を行ったりして、日常の執務環境が相当に劣化してもガマンの出来るものは全て取り込んで節電に努めました。この結果、昨年の夏の電力使用量は近年では際だって少ないものとなり、さらに年度を通して非常に少なく喜ばしい結果となりました。

ところが今夏はこの様な特殊事情が無かつたり、自肃ムードも薄れ、さらには暑さも手伝って、電力使用量は悪い意味のV字回復となってしまいました。改めて省エネ・節電対

策を考えなければなりませんが、昨年のように在室者に極端なまでのガマンを強いることは、余りにも酷であるような感じもあります。お互いの折り合える点に近付けるために、今後何をターゲットにすべきか思案しているところがありました。そんな折の今回の研修会の開催でした。

午前中に行われた「省エネ・節電の進め方と具体的方策」では、エネルギー消費の現状から始まり、省エネ・節電の進め方、省エネ及び節電の具体的方策等の説明があり、今後実務を進めるうえで非常に参考となる内容がありました。午後の「業務用ビル「省エネの進めどころ」」は、ビル建物の節電・省エネを巡る最近の動向、ビルの運用改善による省エネ及びビルの省エネ改善事例解説の3つの構造からなり、講師の微に入り細に渡った饒舌な説明に十分に納得し、さらに最後には小テストもあって4時間近い講義は緊張感もあって、大変短く感じたものでした。

今回の研修会で修得した知識を今後の実務に反映させて、施設の省エネ・節電を図り二酸化炭素排出量のさらなる低減に繋げたいと考えています。

# 除染業務等に係る特別教育 (実技講習)

## ■ 建物衛生委員会

9月26日（水）、「除染業務等に係る特別教育（実技講習）」を、他の協会に先駆けて、茨城県総合福祉会館の3階にある多目的ホールで開催しました。

この特別教育（実技講習）は、「除染電離則」によって定められたもので、5月28日（月）に開催した特別教育（学科講習）に続くものです。日程調整がどうしても折り合わず、技術者研修会と同じ日に開催することとなりました。

実技講習会は、大山会長、曾根建物衛生委員長のあいさつで始まり、まず、学科の補講として、関係法令の改正点と2科目（除染等作業の方法に関する知識、機械等の構造及び取扱いの方法に関する知識）について、CSPコンサルタントの佐藤先生から講義を受け

ました。

次に、受講者はA、B、Cの3班に分かれ、実技講習に移りました。

実技講習では、(株)千代田テクノル、興研(株)並びにアゼアス(株)の担当者の皆様方から、5科目（放射線測定器の取扱い、外部放射線による線量当量率の監視、汚染防止装置、身体等の汚染の状態の検査及び汚染の除去、保護具の取扱い）について、実際に器具・機材等に触れながら、実技面での指導を受けました。

受講者は38名で、除染業務等を安全に行うための学科及び実技の知識を習得することができました。

講習会終了後、各受講者は、曾根建物衛生委員長から受講証明書の交付を受けました。



## 除染等業務特別教育（実技）講習を受講して

新生ビルテクノ(株) 館 由紀夫

前回の除染等特別教育（学科）に引き続き、今回は実技に関する講習と除染電離則改正による学科補講を受講させていただきました。

まずは、平成24年7月1日に除染電離則改正が行われ、特定汚染土壌等取扱業務と、特定線量下業務が、新たに追加された事に関しての学科補講を受講しました。

特定汚染土壌等取扱業務は、生活基盤等の復旧作業、営農、営林作業これらに付帯する保守修繕作業等のうち主に土壌を取り扱うもに対しての追加という事でした。また特定線量下業務は、除染等特別地域内における、平均空間線量率が $2.5 \mu\text{Sv}/\text{h}$ を超える場所において事業者が行う除染業務以外の業務（内部被ばくはないことが前提の業務）という事で、茨城県内では該当しないと思いますが、除染業務から復興・復旧作業へ向けて少しずつ進んできているのではないかと感じました。

実技講習は、まずは放射線測定器の取扱い実習を行いました。空間線量率の測定：NaI (TI) シンチレーションサーベイメーターと汚染検査及びスクリーニング検査：GMサーベイメーターを使用して、機器の取扱い方法や疑似線源を用いて測定方法を学びました。また、ポケット線量計について装着の仕方などを学びました。これらの機器はTVなどでは目にした事はありましたが、実際の機器を見るのも触るのも今回が初めてでした。非常に良い体験が出来ました。

次に、防護服の選定方法と実際に防護服の着脱を体験実習しました。防護

服を着てみて、着ているだけでも暑いのに、夏場に作業をしていた方々は非常に大変だったと思います。脱衣は、脱衣の順番を守り表面をなるべく触らないようにして脱いでいかないと、周囲への汚染拡大や、自分が被ばくしないようにする為にも重要であることを学びました。

最後に、作業用マスクの選び方と、実際に使い捨て式防じんマスクを装着し、装着の仕方とフィットテストを行いました。マスク選びは、国家検定合格の印がある物と、マスクと顔面との密着性の良いマスクを選ぶ事が、内部被ばくを防ぐのに大変重要であると思いました。

今回の講習を受講して除染作業に対して、今まで知らなかった知識を沢山得られたと思います。今後、除染等の業務を行う場合には、今回の受講を生かしていきたいと思います。

急速、このような除染等特別教育（実技）を開催にあたって講師を務めてもらったCSP労働安全コンサルタントの佐藤先生をはじめ、(株)千代田テクノル、興研(株)、アゼアス(株)の皆様、協会関係者の皆様、有難うございました。



## 平成24年度 労働安全衛生標語 入賞作品の紹介

労務対策委員会では、今年度も労働安全衛生標語の募集を行いました（募集期間：8月1日～31日）。

今回も会員各社より多数のご応募をいただき、応募総数751点の中から、優秀作品選考会において、下記のとおり、入賞作品17点（金賞1点、銀賞3点、銅賞3点、佳作10点）を決定し、「平成24年度 労働安全衛生大会」において発表、表彰を行いましたので、ご紹介いたします。

(社)茨城県ビルメンテナンス協会

### 平成24年度 労働安全衛生標語 入賞作品集

#### 金賞

急ぐな 焦るな 手を抜くな 初心に戻って 安全確認

東京美装興業(株) 茨城支店 岩崎 大輔

#### 銀賞

無災害 一人ひとりの心がけ

高橋興業(株) 望月雅比子

安全に慣れた仕事に油断せず しっかり確認ゼロ災害

株アピック 山本 剛

手を抜くな 基本動作が 身を守る

テスコ(株) つくば支店 小亦 常男

#### 銅賞

ゼロ災害 一人一人の危機意識

株裕生 つくば営業所 高田 和浩

安全は すべてに優先 仕事の手順

関東ビルサービス(株) 菅谷 秀明

見直そう 慣れた作業に 潜む事故

株ともゑ 川嶋 勉

#### 佳作

「だろう」が招くトラブルを 「かもしれない」と心掛け

株裕生 つくば営業所 滝口 英穎

安全に あってはならない 想定外

総合建物サービス(株) 大曾根文子

ヒヤリで済んだ あの教訓 皆んなで活かそう 危険予知！

茨城ビル代行(株) 田所 義美

見られてます。あなたの行動。身だしなみ

株アピック 石川美智子

危険箇所 目配り気配り ゼロ災害

高橋興業(株) 田上 昌孝

ヒヤリハット忘れずに 「基本作業で事故防ぐ」

テルウェル東日本(株) 茨城支店 寺門 幸子

報・連・相 徹底現場に事故は無し

テスコ(株) つくば支店 青木 正人

慣れた作業に危険が潜む ルールを守って安全作業

株アメニティ・ジャパン 須崎 与市

昨日と同じ今日はない 初心忘れず 安全確認

常陽メンテナンス(株) 三浦 みゆき

みんなで築く無災害 一人一人が主役です

株全日 取手支社 (株)全日茨城 中川 弘美

※ 漢字・かな使い等すべて原文のまま転載

(敬称略)

入賞作品（17点）は、今後一年間にわたり、本誌の各ページ下に掲載します。

平成24年度

## 「労働安全衛生大会」を開催

■ 労務対策委員会

10月24日（水）午後1時30分から、「平成24年度労働安全衛生大会」を茨城県総合福祉会館1階のコミュニティホールで、81名（非会員を含む）の参加の下、開催しました。

大会は、那花労務対策副委員長の司会により進行し、来栖副会長の「開会のことば」に始まり、主催者として大山会長のあいさつ、ご来賓として茨城労働局 労働基準部長 高橋様のごあいさつをいただいた後、田口労務対策委員長の平成24年度労働安全衛生標語の入賞作品の選考結果報告、続いて、秋山労務対策副委員長の入賞作品の発表があり、大山会長から、金、銀、銅の各賞の受賞者に表彰

状と記念品が贈呈されました。受賞した各作品は、会場のサブスクリーンに映写され、受賞者の栄誉を称えました。

次に、講演に移り、茨城県保健福祉部技監兼常陸大宮保健所長 荒木様を講師に迎え、「心の健康対策（メンタルヘルスケア）の推進について」講義を受けました。

大会の締めくくりとして田口労務対策委員長から提案された大会宣言は、満場一致で採択され、出席者全員で大会宣言を唱和し、労働安全衛生に取り組む決意を新たにしました。宮内副会長の「閉会のことば」で、今大会も盛会のうちに終了しました。

平成24年度

## 労働安全衛生大会 大会宣言

私たちの職場は、すべてに安全を最優先とし、労働安全管理水準の向上に努め、ゼロ災害推進を宣言します。



## 労働安全衛生大会に参加して

ディバーシー合同会社 繁藤 貴志

今回、初めて労働衛生大会に参加しましたが、100人近くが参加をしており、その意識の高さに驚かされました。

講習の内容に関して、労働災害が全体で平成22年、23年と2年連続で増加していること、今年度においても8月末現在で対前年比7.9%の増加、我々ビルメンテナンス業界が属する第三次産業も増加傾向であることに対してまったく認識がなく勉強不足でした。

また、職場のメンタルヘルスケアにおいて、従業員のストレス増強を防ぐには組織のリーダーの気配り（周りが見えていること）、周囲（仲間）のサポートが大事であると考えさせられました。

さらに、各個人でストレス対処能力（前向き度、自己信頼度）を高めること、より自分の性格を知る事が大事であると学びました。今回行った自己診断チェックリストはより自分を知るという意味で非常に良い体験でした。これらを継続する事が心身のストレス反応の低減に繋がると考えます。

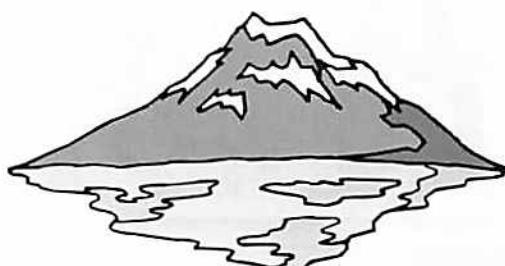
自分の今までの体験を思い返すと、仕事に対して厳しい上司・先輩に対してストレスを感じていましたが、愛情の

ある厳しさだったのでそれ以上の前向き度、自己信頼度を高めることができたのではないかと感じております。今ではぶれない自分を形成することができました。

近年においては、上記のような厳しさに絶えられない人（特に若者）が多くなっていると感じます。我々のような古い時代（笑）と生活環境がまったく違うので仕方がない事です。大事なのは伝える方法を変えることだと考えます。古き良き時代は厳しさだけで良かったですが、現代は論理的に相手に理解させる必要があります。

よって、現代は論理的にストレス対処能力を高めることは非常に重要な事であり、それが直接的に心身のストレス反応の低減に繋がると感じました。ひいては従業員が安心して前向きに働く職場作りに繋がるでしょう。

今回の労働安全衛生大会を通じて改めて組織内のコミュニケーションについて再認識するとともに今回学んだことを無駄にしないように生かしていく。来年度は労働災害が減少傾向であることを期待しています。



# 会員親睦研修旅行

## ■ 総務委員会

毎年恒例の会員親睦研修旅行を11月7日(水)～8日(木)の1泊2日で開催しました。

1日目は、参加者26名の日頃の行いよろしく絶好の行楽日和の中、長野県・伊那温泉へと向かいました。道中、名物おぎのや“峠の釜飯”で昼食後、諏訪大社・上社本宮を参拝し、養命酒製造駒ヶ根工場の研修視察を行い、宿泊先の「伊那グランドホテル 天心」に無事到着。各々“美人の湯”に浸かり、疲れを癒し、懇親会では、和気あいあいとお酒も話もカラオケも弾みました。

2日目も紅葉映える晴天に恵まれ、長野県

から愛知県へ向かいます。紅葉の名所 香嵐渓を散策。見頃には幾分早い時期でしたが、ピーク時の人出を考えれば、ゆっくりのんびりと楽しむことができたのでは…。焼津のおさかな市場で昼食、お土産を買い込んだ一行は、雄大な富士山、駿河湾を望む新東名高速を経由し、帰途に着きました。

今回の研修旅行も参加者皆様のご協力により、楽しく、無事故で出来ましたこと感謝申し上げます。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。



## 平成24年度会員親睦研修旅行に参加して

日興美装工業(株) 助川 和徳

11月7日(水)・8日(木)に、長野県の日神温泉方面への会員親睦研修旅行に参加しました。

1泊2日ながら、盛りだくさんのバスの旅になりました。また、天候にも恵まれ、富士山がくっきり眺められる清々しい行楽日和でした。



参加者は26名で、水戸駅から朝7時に5名、土浦駅から朝8時に21名が乗車しました。

まずは、車内での研修で、鷹巣総務委員長の挨拶から始まり、大山会長の挨拶及びビルメン業界の現状と動向についてのお話、参加者全員の自己紹介、協会各委員会の活動状況報告（総務委員会、広報委員会、労務対策委員会、建物衛生委員会、設備保全・警備委員会）などが行われました。

そしてお待ちかねの乾杯！クイズやbingo大会、新旧総務委員長のたぐいまれなる盛り上げトーク、それに大山会長の楽しいお話しなどにより、朝から生ビールがガンガン消費されていきました。

常磐道、外環道、関越道、圏央道、中央道を通り、長野県諏訪のドライブインで昼食の「峠の釜めし」を堪能してから諏訪大社を参拝しました。ここは、御柱祭（おんばしらさい）と言う、山中から樹齢200年程の巨木を切り出し、人力で山を下り川を越えて運び、社殿の四方に建てて神木とする勇壮な大祭が行われる神社でした。みなさんもTVニュースなどで、たくさんの氏子の男達が巨木にまたがったまま崖からすべり落ちる映像を見たことがあるのではないでしょうか。

次に、養命酒の駒ヶ根工場を視察しました。中央アルプスと南アルプスの連山を望むこと

ができる山中があり、その斜面を利用して建屋を連立させ、山の上方から工程順に液体（養命酒）が流れるようにしているとのことでした。また、広い敷地でしたが、その多くが自然のままであり、清流や自然散策路もあり、環境に配慮した工場だと思いました。養命酒は14種類の生薬が溶け込む薬酒との説明を受け、出来たての養命酒の試飲の後、みなさん「健康になった」と言っていました。

そして、信州の南に位置し、静かな山間の長野県日神温泉郷の日神グランドホテル天心に泊まり、懇親会はお酒やカラオケが進み大盛況となりました。このホテルは、展望大浴場と露天風呂が分かれており、1階の露天風呂は洗い場も露天だったので少し寒かったです。もちろん葉がぱらりと岩風呂に浮かんでいて風情がありました。泉質はアルカリ性単純硫酸黄泉（無色透明）で、「美人の湯」として親しまれているそうですが、湯に浸かってすぐにそれが実感できるお湯でした。

2日目は、中央道、東海環状道を通り、愛知県豊田市の香嵐溪で紅葉散策をしました。私は、鮎の塩焼きとソフトクリームを食べ、おみやげに、富士柿という大きな柿と饅頭を買いました。

次に、東海環状道、東名高速を通り、静岡県焼津市の焼津さかなセンターで昼食を取り、威勢の良い掛け声に釣られて新鮮豊富な海の幸のおみやげを、みんなたくさん買いました。

そして、4月に開通したばかりの新東名高速、首都高速、常磐道を通り、土浦駅着が夜7時過ぎ、水戸駅着は夜8時となる、2日間をフルに使った欲張りコースで達成感と充実感が得られた会員親睦研修旅行でした。

私は、初めて参加させていただきましたが、みなさんに親切にしていただきましたし、ゆっくり話せる情報交換の場もあり、そして、事務局の砂押専務理事と田山さんの最上の心配りもあり、有意義で楽しく過ごすことができました。

平成24年度

## ビルクリーニング技能検定受検準備講習会

開 催

■ 建物衛生委員会

建物衛生委員会においては、今年度の「ビルクリーニング技能検定受検準備講習会」を水戸市：茨城県立青少年会館を会場に下記の2回にわたり開催しました。

第1回：11月27日（火）・28日（水）2日間

第2回：12月3日（月）・4日（火）2日間

講習会では、床表面洗浄作業、ガラス面洗浄作業、カーペットの汚れ取り作業に分かれ、担当の協会講師指導のもと、今年度の技能検定より、課題1【床表面洗浄のワックス掛け作業】において、資機材が従来の房糸モップからフラット型モップに変更されたことに伴い、フラット型モップを使用し、実技試験課題に沿って講習を行いました。

受講者の方々におかれましては、日常の業務に就きながらの練習には厳しいものがあると思われますが、万全の態勢で本試験に臨まれ、全員の方が合格されますよう、ご祈念いたします。



平成24年度

## シニアワークプログラム事業 ビルメンテナンス講習

開 催

■ 建物衛生委員会

建物衛生委員会では、毎年、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会より受託している「シニアワークプログラム事業 ビルメンテナンス講習」を下記のとおり実施いたしました。

- 拠点名：水戸市シルバー人材センター
- 講習期間：11月13日（火）～11月21日（水）（土・日を除く7日間）
- 講習会場：水戸市・茨城県職業人材育成センター
- 受講者数：10名（男性 8名・女性 2名）
- 講 師：茨城県ビルメンテナンス協会講師 8名（1日につき2名（補佐含む））

併せて、最終日に受講修了者を対象とした「合同面接会」が開催され、当協会会員2社にご出席をいただきました。

業務ご多用中のところ、ご協力いただきました会員各社並びに協会講師各位には、厚く御礼申し上げます。

# 第41回関東甲信越地区例会 千葉例会

10月18日（木）～19日（金）の日程で、「第41回関東甲信越地区例会千葉例会」が、千葉市美浜区の「アパホテル&リゾート東京ベイ幕張」で開催され、関東甲信越地区の9県から約150名が一堂に会することとなりました。



当協会からは、来年、「茨城例会」が予定されていることもあり、大山会長をはじめ21名が参加しました。

18日（木）の例会では、全国協会報告、各県協会の近況報告、講演会（演題：日本経済の動向 講師：伊藤東京大学教授）などを通じて、情報の共有を図るとともに、経済情勢に関する知見を一層深めることができました。

最後に、大山会長が、次期開催県協会長として挨拶をし、閉会となりました。

閉会後の懇親会では、和やかな雰囲気の中で、相互の交流と親睦を深めることができました。

19日（金）は、親睦を一層深めるため、「観光コース」と「ゴルフコース」とに分かれ、相互の交流を活発に行いました。

## あいさつ

会長（次期開催県協会長） 大山 進

役員と会員が一丸となり、精一杯の「おもてなし」をしたいと考えております。

茨城県は、昨年、東日本大震災により大きな被害を受けました。

茨城県協会は、全国協会をはじめ、全国のビルメンテナンス業の仲間から、沢山のご支援をいただき、今でも感謝の気持ちで一杯でございます。

その恩返しの意味でも、有意義な「茨城例会」とするため、心を込めて、その運営にあたってまいりたいと思います。

多くの方々のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



次期開催県協会長ということで、ひとご挨拶を申し上げます。

来年の「茨城例会」は、10月10日（木）・11日（金）の日程で開催の予定でございます。

今回の「千葉例会」をお手本としまして、

## 第41回関東甲信越地区例会 千葉例会を終えて

綜合建物サービス(株) 大野 洋平

10月18日に「第41回関東甲信越地区例会千葉例会」に参加してまいりました。私自身、ビルメンテナンス関連の集まりに出席する機会は滅多になく、どのような会議になるのかと期待に胸を膨らませての参加となりました。

会場となるアパホテル＆リゾート東京ベイ幕張のロケーションは素晴らしい、高層ビルが整備された町並みに美しく立ち並び、ビルメンテナンスに携わる者としてはわくわくするような場所でした。会場には一足早く到着していた弊社の曾根により茨城県協会からご出席された方々と次々と名刺交換をさせていただき、普段お目にかかるない同業者の役員の方や精力的に協会を支えてくださっている若い世代の方々にお会いすることができました。13：30に例会が始まり全国・各県状況報告と議題は進みました。各県協会ともに過去10年間の会員入退会の推移をみると良くて微減、大幅に会員数が減少している県もあり、改めてビルメンテナンス業界の置かれている状況の厳しさを思い知る機会となりました。そのような状況下でも各協会、各社とも安全教育、社員育成、そして社会貢献活動などに力を注いでいることが分かりました。このような活動は必ずビルメン業

界の発展と継続につながっていく信じています。講演会にはテレビや雑誌で活躍されている東京大学大学院経済学研究科教授の伊藤元重氏による貴重な講演を聴くことが出来ました。その後、懇親会へと移りました。美味しい料理とお酒に気分もよくなり参加者の方々からアドバイスもいただき、とても充実した日になりました。

翌日は観光コース・ゴルフコースに分かれました。素晴らしい秋晴れに喜ぶゴルフ愛好家に囲まれ、言い訳のできない天気の中で一人憂鬱な私がいました。結果は茨城県の都道府県魅力ランキングと同じ順位でした。

2日間にわたり参加した今例会では関東甲信越地区で活躍されている大勢の関係者とお会いでき、有意義な時間を共有できたことが本当に貴重な経験となりました。またこのような素晴らしい例会を成功させた千葉県ビルメンテナンス協会に感謝を申し上げます。来年は茨城県ビルメンテナンス協会が主催となります。関係者の方々もご多忙の中、ご苦労されると思いますが、千葉県に負けない素晴らしい例会になるように祈念しております。

# 理事会だより



## 第3回常任理事会

日 時 8月23日(木) 14:00 ~ 16:00  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、曾根・鷹巣・高野・池田・田口各常任理事  
議 題 (1)(平成25年) 第42回関東甲信越地区例会(茨城例会)の開催要項について  
(2)第41回関東甲信越地区例会(千葉例会)参加について  
(3)一般社団法人移行認可申請の進捗状況について  
(4)その他

出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、西村・長谷川・曾根・鷹巣・高野・池田・田口各理事、砂押専務理事  
議 題 (1)一般社団法人への移行認可申請について  
(2)その他

## 打合せ会

日 時 10月24日(水) 10:30 ~ 11:30  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・高野・池田・田口各常任理事、那花・秋山労務対策副委員長、砂押専務理事  
議 題 (1)「平成24年度労働安全衛生大会」開催要項について  
(2)その他

## 第2回理事会

日 時 9月4日(火) 15:30 ~ 16:45  
場 所 協会事務局 会議室

# 各委員会だより



## 労務対策委員会

◇ 第1回委員会  
日 時 7月25日(水) 15:00 ~ 14:15  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 大山会長、来栖副会長、田口委員長、那花・秋山副委員長、増田・中根各委員、砂押専務理事  
議 題 (1)平成24年度労働安全衛生標語の募集について  
(2)平成24年度労働安全衛生大会の開催について  
(3)その他

### ◇ 標語選考会

日 時 9月11日(火) 15:00 ~ 16:45  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、曾根・鷹巣・高野・池田各常任理事  
議 題 (1)優秀作品の選考について  
(2)副賞及び顕彰の方法について  
(3)優秀作品の大会会場での展示について  
(4)「労働安全衛生大会」大会宣言について  
(5)その他

## 建物衛生委員会

### ◇ 協会講師講習（TV講習）

日 時 8月3日（金） 13:30～16:30  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 曾根委員長、川嶋・塙谷・高橋・山口各委員

### ◇ 第2回委員会

日 時 9月27日（木） 15:00～16:30  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 曾根委員長、大曾根副委員長、藤原・塙越・川嶋・篠崎・井上・高橋・山口各委員、砂押専務理事  
議 題 (1)平成24年度ビルクリーニング技能検定受検準備講習会について  
(2)平成24年度シニアワークプログラム事業 ビルメンテナンス講習について  
(3)その他

## 広報委員会

### ◇ 第2回委員会

日 時 11月14日（水） 15:00～16:15  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 宮内副会長、池田委員長、湯原・古市副委員長、館・助川・更澤・柏各委員、砂押専務理事

議 題 (1)「茨協ニュース（第84号）」の発行について  
(2)その他

### ◇ 編集会議

日 時 11月22日（木） 15:00～16:30  
場 所 協会事務局 会議室  
出席者 宮内副会長、池田委員長、湯原・古市副委員長、館・助川・更澤・佐藤各委員  
議 題 (1)「茨協ニュース（第84号）」の編集作業について  
(2)その他

新たな年のスタートに！

## 平成24年新春賀詞交歓会

開催のお知らせ

期 日 平成25年1月30日（水）

時 間 午前11時開会（受付は午前10時より）

会 場 水戸プラザホテル 1F「ガーデンルーム」

水戸市千波町2078-1

TEL 029-305-8111(代)

会 費 1名様 10,000円



会員各位の多数のご参加をお待ちしております。



## 会員情報板



### ◆社名の変更

旧	新
(株)パイオニア・サービス	⇒ (株)パイオニア・サービス 東日本
(株)全日取手支社	⇒ (株)全日茨城

### ◆所在地の訂正

〒302-0004 茨城県取手市取手2-10-15 長谷ビル2F  
(株)全日茨城 ↓  
長谷ビル3F

### ◆名称・所在地・TEL・FAXの変更

(株)裕生 土浦営業所 ⇒ (株)裕生 つくば営業所(9月3日付)  
〒300-0051 つくば市二の宮1-11-9 TOSビルⅢ 2F  
TEL 029-886-9391 FAX 029-886-9393

### ◆所在地・TEL・FAXの変更

(株)協栄 千葉支店 〒273-0107 千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-8-17  
(9月24日付) 新鎌ヶ谷Fタワー 503号  
TEL 047-442-0031 FAX 047-442-0062

茨城県

## 最低賃金改定

茨城県最低賃金が 時間額 **699円** に

平成24年10月6日(土)から変わります

詳しくは、茨城労働局労働基準部賃金室へ  
電話 029-224-6216

# 会員紹介

Ibaraki Building Maintenance Association

## 茨城ビル代行株式会社

茨城ビル代行株式会社は、環境事業での地域社会貢献を使命と考えております。

当社は、昭和32年の創業以来、お客様との間に深く信頼を築いてまいりました。

今後も、お客様の最高のパートナーとしてお役に立つと共に、スタッフがやりがいを持てる職場を目指し、夢と希望、活力にあふれた企業づくりに努めてまいります。



## 株式会社 エム・ビー・シー



株式会社エム・ビー・シーは、昭和39年4月設立以来建物の管理を通して快適な空間を構築する事を目的とし、今年創業48周年を迎え、職務を遂行する事により、周辺地域の環境作りに役立つ公共性の高い役割を担っていると考えております。各種清掃業務・ビル衛生管理業務・設備管理業務・警備業務・人材派遣業務・一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬業務、その他メンテナンスに関する総てのニーズに対応できる、総合管理会社として環境の変化に対応できる高い技術と人材を揃え、お客様の大切な資産を預かっている立場として、安心で快適な環境作りに努めてまいります。



## 株式会社 オーチュ－茨城支店



弊社は昭和39年創業・昭和61年2月にひたちなか市（旧勝田市）に支店を開設以来、官公庁施設及び民間施設の維持管理を主体として、お客様のニーズに合わせたサービス・さらなる品質の向上を目指し「トータルビルメンテナンス企業」として地域社会に貢献してまいりました。

今後も活力ある地域社会の形成のため、現在までに培ったノウハウと外部ネットワークを最大限に活かし、全社一丸で地域にねざした「優れた品質で、すべてのお客様に最高の満足」を提供してまいります。

## 環境美化管理株式会社

—新しい時代の要請に応えます—

ここ数年、街づくりの理念は、かっての開発一辺倒から自然環境も生かした“美しい街づくり”へと大きな方向転換をしてきました。そして美しい町並みの中心になるのが建物です。

私たち環境美化管理株式会社は、ビルを中心とするこれらの都市の建物の清掃を代行する企業として、昭和48年に創業し、今日まで営業を続けてまいりました。

ビル内部の日常清掃から外壁や窓ガラスの定期清掃まで、長年の経験と、最新のクリンネステクノロジーで、ご満足いただける仕上がりを実現します。ご用命をお待ちしております。



## 関東ビルサービス 株式会社

関東ビルサービス株式会社は創業以来43年間、お客様第一主義で安心・信頼されるサービスを提供できるよう努めてまいりました。

環境に配慮したエコ活動や、ペットボトルのキヤップを集め世界の子供たちにワクチンを届ける活動、赤十字募金機能付き自販機を設置する等、奉仕活動にも積極的に取り組んでおります。

今後も様々な事に挑戦し、社員一同精進してまいります。



次号の会員紹介は、(株)協栄、(株)クリーンらいふ、京成ビルサービス(株)、京葉ビルサービス(株)、古河ビルサービス(株)の5社にお願いする予定です。ご協力よろしくお願ひします。

## ■編・集・後・記■

私の故郷北海道に「イヌワシ」が大地を創造したという神話がある。北の凍てつく大地の上、空高く悠々と地平線を越えていく空の王者の勇姿がアイスの人々の想像力をかきたてたに違いない。

今年2月に、「はやぶさ 遙かなる帰還」という話題の映画を観る機会があった。2003年5月に打ち上げられた「はやぶさ」は、地上からの指令と自動制御で小惑星「イトカワ」に降り立ち、7年ぶりに故郷の星に帰還する。その間、エンジンの故障や通信途絶など数々のトラブルを不死鳥のごとく克服して、60億キロを飛び続けた。その姿は天文ファンでなくても心を打たれる。地球重力圏外の天体に着陸してのサンプルリターンは、世界初の偉業でもあった。

今から約6500万年前の恐竜絶滅は、巨大隕石の衝突による気候変動が原因だと言われている。あまり想像したくはないが、将来、小惑星が地球に急接近し人類が滅亡の危機に瀕した時、「はやぶさ」のプロジェクトがおおいに役

立つかもしれない。

《遙か昔、極東の小さな島国が飛ばした1羽の鳥の挑戦が、平和で豊かな今の暮らしを守る原点となった》年末の慌ただしい時節、生々しい政治談義にも飽きたら天空に想いをはせ、こんな神話を夢想するのも楽しいではないか。

来年が、皆様にとって幸せで豊かな年になりますように。

(株)新日警管財  
更澤 博之

### 今号の編集者

#### ◎委員長

池田 弘(常総ビル整美株)

#### ◎編集委員

湯原 隆幸(タカラビルメン株)

古市 茂樹(茨城ビル代行株)

館 由紀夫(新生ビルテクノ株)

更澤 博之(株)新日警管財)

佐藤 秀夫(JR水戸鉄道サービス株)

助川 和徳(日興美装工業株)

#### ◎副会長

宮内 隆夫(関東ビルサービス株)

### 発行所

茨城県水戸市千波町1918

社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

☎029-305-5111 FAX 029-305-5112

E-mail : ibmal@ceres.ocn.ne.jp

http://www.ibaraki-bma.or.jp/

### 責任者 会長 大山 進

編集責任者 広報委員長 池田 弘

発行回数 年3回

印刷所 (有)クリエイティブサンエイ